

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 215-0026
 住 所 神奈川県川崎市麻生区古沢都古255
 氏 名 医療法人社団 三成会
 理事長 渡邊 一夫

印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	医療法人社団三成会		
主たる事務所 又は事業所の所在地	神奈川県川崎市麻生区古沢都古255		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	P	医療、福祉
	中分類	83	医療業
主たる事業 の内容	病院		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	3,462	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	用度管理課施設係
		所在地	神奈川県川崎市麻生区古沢都古255
		電話番号	044-322-9991
		FAX番号	044-322-8688
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成26年度 ～平成28年度 (報告年度 平成28年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 6,181 t-CO ₂ (調) 5,271	(実) 6,046 t-CO ₂ (調) 5,174	(実) 6,413 t-CO ₂ (調) 5,493	(実) 7,022 t-CO ₂ (調) 6,026	(実) 6,100 t-CO ₂
削減率		(実) 2.2 % (調) 1.8	(実) -3.8 % (調) -4.2	(実) -13.6 % (調) -14.3	(実) 1.3 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量	在院患者数		単位	t-CO ₂ /人	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値	24.33	21.07	18.52	22.56	23.02
削減率		13.4 %	23.9 %	7.3 %	5.4 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	都市ガス使用量については、冬季のガス吸収式冷凍機の稼働が増加したため対前年比で約1.6%増加したが、電力使用量については熱源および空調機の運転の計画的な制御により、対前年比で約4.4%減少した。その結果、温室効果ガスの実排出量は対前年比で2.2%削減することができた。
第2年度	都市ガス使用量及び電力使用量について、熱源及び空調機の運転時間の調整、夏季の冷房温度及び冬季の暖房温度の設定等をきめ細かく行ったが、入院患者数及び外来患者数の飛躍的な伸びにより、冷暖房の需要が増加したため、温室効果ガスの実排出量は対前年比で3.8%の増加となった。
第3年度	昨年度に引続き、都市ガス使用量及び電力使用量について、熱源及び空調機の運転時間の調整、夏季の冷房温度及び冬季の暖房温度の設定等をきめ細かく行ったが、期中に空調機及び大型医療機器の増設があったのに加え、夏季（7～9月）において気温が例年に比べて非常に高い日が続き、それに伴う冷房需要が例年に比べて飛躍的に高まったことにより、温室効果ガスの実排出量は基準年度から13.6%の増加となった。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

昨年度に引続き、都市ガス使用量及び電力使用量について、熱源及び空調機の運転時間の調整、夏季の冷房温度及び冬季の暖房温度の設定等をきめ細かく行ったが、期中に空調機及び大型医療機器の増設があったのに加え、夏季（7～9月）において気温が例年に比べて非常に高い日が続き、それに伴う冷房需要が例年に比べて飛躍的に高まったことにより、温室効果ガスの実排出量は基準年度から13.6%の増加となった。

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、 第2号、 第4号該 当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> ○施設内照明器具の間引き点灯 ○巡回による施設内の温度設定の遵守 (夏季28℃、冬季20℃) ○施設内照明のLED化
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ○施設内照明器具の間引き点灯 ○巡回による施設内の温度設定の遵守 (夏季28℃、冬季20℃) ○外部専門家による省エネルギー診断の実施 ○外部専門家を交えた省エネルギー検討会の実施 ○FCUの運転時間の見直し
	第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ○施設内照明器具の間引き点灯 ○巡回による施設内の温度設定の遵守 (夏季28℃、冬季20℃) ○LED照明の導入 (一部) ○冷温水発生機の冷水温度及び温水温度の見直し ○空調機・外調機の給気温度の見直し
	第3年度	<ul style="list-style-type: none"> ○施設内照明器具の間引き点灯 ○巡回による施設内の温度設定の遵守 (夏季28℃、冬季20℃) ○LED照明の導入 (一部) ○冷温水発生機の冷水温度及び温水温度の見直し ○空調機・外調機の給気温度の見直し ○ボイラー室内の熱源設備配管接合部及び玉形弁への保温材 (エコジャケット) の取付
自動車等 (第3号該 当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ul style="list-style-type: none">・各種産業廃棄物の分別化を推進する。・コージェネレーションシステムの導入を検討する。
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	6,813	t-CO ₂
(調)	6,738	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等单位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
新百合ヶ丘総合病院	川崎市麻生区古沢都古255	8311	一般病院	6,813 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	

(3) 事業所等单位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--